

IoT・AI 技術が支える新たな空調ソリューションとサービス

主催 (公社)日本冷凍空調学会 関東地区事業推進委員会
 WEB 公開予定期間 2021 年 3 月 11 日 (木) ~ 3 月 25 日 (木)
 ※ Web 公開の期間内は、何度でも視聴可能です。
 ※※ 公開予定日が延期される場合があります。

近年急速に発達した AI 技術により、さまざまな業務の自動化・効率化が進んでおります。また、IoT やリモートワークの普及により、私たちの生活は大きく変化しました。空調冷凍業界においてもこれらの技術を活用して製品価値やユーザーへのサービスを生み出し、個人の生活がどのように豊かになるか大きな期待が寄せられています。今回は、AI、IoT 技術の高度化にどのような可能性があるのか探ることをテーマに基調講演者お二方をお迎えし、また、各社の技術動向として、遠隔監視や故障診断を含む幅広い活用シーンや、関連する最新技術の導入事例をご紹介します。みなさま奮ってご参加ください。

1. 基調講演			
1.1	IoT・AI はシンギュラリティを回避できるか	工学院大学 野部 達夫	約 50 分
1.2	人工知能を用いた蓄電池・蓄熱層・熱源の統合的運用最適化	東京大学 大岡 龍三	約 50 分
2. 機器メーカーのソリューション及びサービス			
2.1	つながる・広がる ダイキンの IoT を活用したサービス化戦略 ーデータを活用した空気・空間の価値向上に向けてー	ダイキン工業(株) 橘 健太郎	約 35 分
2.2	データによる価値提案を可能にするライフソリューション	三菱電機(株) 朝日 宣雄	約 35 分
2.3	空調 IoT ソリューション『exiida 予兆診断』のご紹介 ー保守最適化による事業機会損失と維持管理コストの抑制ー	日立グローバルライフソリューションズ(株) 森 雄二	約 35 分
2.4	食肉業界における深層学習技術の適用事例の紹介 ー食肉処理ロボットシステムにおける認識技術を中心にー	(株)前川製作所 山下 智輝	約 35 分
3. AI・IoT を採用した空調システム事例			
3.1	虎ノ門ヒルズにおける熱源最適運転事例	三菱冷熱工業(株) 福井 雅英	約 35 分

参加費：冷空学会個人会員と法人会員企業の従業員 14,000 円(税込)、
 冷凍技士 7,000 円(税込)、非会員 20,000 円(税込)
 会員学生 2,000 円(税込)、非会員学生 4,000 円(税込)

募集人員：無制限

申込方法：学会ホームページより申し込みください。申込 URL: <https://jsrae-edu.org/>

WEB 公開予定日：2021 年 3 月 11 日 (木) ~ 3 月 25 日 (木)

視聴受付は 1 月上旬から学会ホームページ(上記 URL) から開始し 3 月 8 日に締め切る予定ですのでお早めにお申し込みください。(参加費のお支払い期限：3 月 8 日)

※3 月 8 日までに入金が確認できない方は受講できませんのでご了承ください。

※※参加申込前に [【視聴環境確認ページ】](#) より、テスト動画が再生できることを必ずご確認ください。

備考 1: 本 Web セミナーは冷凍 CPD システム上で受付が完了した受講者のみに限定公開されます。冷凍 CPD 会員の登録が必要となりますが、登録は無料です。

Web 公開の期間内は、何度でも視聴可能ですので、ご都合の良い日時に視聴できます。

備考 2: 【領収書は WEB にてダウンロードできます。】

この領収書は従来のセミナー・見学会参加券同様、5 枚集めることで年次大会へ 1 名無料で参加することが出来ます。(有効期限：セミナー開催日から 3 年間)